

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	体験と対話を通してアイデンティティの確立を支援するキャリア教育
2. 活動国・地域	日本・神奈川県、愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、群馬県など、 ブラジル・サンパウロ市
3. 事業分野	☐ 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 ☒ 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	外国にルーツをもつ若者が対話や体験活動を通して自己理解および社会理解を深め、早期に自分のアイデンティティを確立できるようキャリア教育を提供する。
5. 事業の背景・経緯・対象 地域の課題・人びとのニーズ	外国にルーツをもつ子ども若者が全国的に増えており、その多くが卒業後非正規労働に就くという状況が続いている。愛知県では特にブラジルにルーツをもつ子ども若者が多く、中卒や高校中退で働いている者も非常に多い。中には自分の居場所やキャリア形成の場を求めてブラジルと日本を行き来し、逆に自分を見失ってしまう若者も見受けられる。 よって、対話を通して日本と母国双方の社会を理解した上で企業見学等に参加し、人生を切り開いていく場所を自己決定できるようなキャリア教育が必要である。
6. 事業の意義・目的	日本で育った若者が対話と体験活動を通して自己理解を深めることによって、将来どこでどのようにキャリア形成していくかという長期目標を立てられるようになる。それによってキャリア教育の学びが自律的に進められるようになり、今後ますます多文化化が進む地域社会において活躍できる人材が育つことを目指す。
7. 主な対象者（受益者）	日本に在住しブラジルにルーツがある 15～25 歳の若者 20 人
8. 実施期間	（西暦）2026 年 8 月末～ 2027 年 8 月下旬
9. 活動内容	自らキャリア形成の場を決定できるよう、日本とブラジル双方において次の活動を行う。 1、日本で育ち日本またはブラジルで働いている先輩社会人に当団体がインタビューし、外国にルーツをもつ若者に向けて SNS で発信する（合計 20 本） 2、東京で 2 泊 3 日の研修を行い、参加者 20 人を集めて集中的にキャリア教育を実施する（ワークショップ、講話、フィールドワークなど） 3、参加者が住んでいる都道府県の企業でインターンシップ（3～4 日間）を実施し、オンラインのフォローアップ研修で経験を共有する 4、上記 2・3 を受講した人の中から希望者を募り、サンパウロ市で 20 日間の研修を行う（ホームステイ、職場見学、ワークショップなど） なお、1 のインタビューは 2 分以内に編集し、2 の研修参加者を募る広報用としても活用する。また研修参加者は、主に愛知県・静岡県・三重県・群馬県などにあるブラジル人学校で公募する。 4 のブラジル研修においては、別途資金調達する。
10. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	一般社団法人 DiVE.tv
2. 主な活動内容	日本人および外国人住民の直接的・間接的なコミュニケーションを促し、多文化共生社会の実現に貢献するため、イベントや日本語教室の実施、若者支援、動画などのコンテンツ制作を行なっている。